うさぎとかめ通信　上越市立高田幼稚園

（週刊：園長室だより）１０６周年　令和４年４月１４日　第１４３号

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本です。

【本園のホームページもご覧ください。ＱＲコードです。→】

子どもの姿から

７日（木）は新任式・始業式、８日（金）は入園式でした。

新任式では、久しぶりに保護者の皆様に参加していただきました。職員１名減のほかは、全教職員が昨年度と同じで、アットホームな雰囲気でした。始業式では、「自分の命と心を大切にする。まわりの人の命と心も大切にする。」ことを確認し合いました。

【入園式、おめでとう】→

入園式では、もも組とまつ組に新しい皆さんを迎えることができました。ご協力いただいた保護者の皆様に、深く感謝申し上げます。園児一人一人の「思い」に基づいて、園児の多様な「体験」が生まれる環境を整え、園児が多様に思いを「表現」できる場を設けていきます。そして、そこから園児一人一人の「思い」が広がり深まることに努めます。高田幼稚園で楽しく遊びましょう！

園庭・園舎から

【ツクシを見つけました】→

７日（木）、園庭の桜が咲いていました。

朝には正門脇の桜がいくつか咲いていて、暖かくなるにつれて、どんどん咲いてきました。始業式が終わると、さっそく園児は桜咲く園庭に飛び出しました。春休みなんかなかったかのように、自然に遊びに入りました。ボールや遊具で遊んだり、園舎の周りで草花を観察したりしました。ヒメオドリコソウが咲いていたり大きな松ぼっくりが転がったりしていました。

小学校の入学式を終えた直後の卒園児が、ランドセルを背負って来園してくれました。翌日入学式の卒園生も遊びに来てくれました。ありがとうございました。

キーワード

【土のブロックも見つけました】→

○「しなやかさ」と「たくましさ」を育む

千葉大学の砂上史子教授は、変化が早く先の見通せない時代においては、「しなやかさ」（従来のやり方や自分の考えにだけ固執しない力）と、「たくましさ」（思い通りにいかない状況や失敗・挫折に向き合い乗り越える力）を育むことが重要であると述べています。そして、「しなやかさ」と「たくましさ」を子どもに育むときに、保育者が重視すべき事柄を指摘しています。

①「小さな逆境」を大切にする……年齢や時期、子ども理解に即して、「小さな逆境」の種を環境や活動に潜ませ、子どもの挑戦的意欲を引き出して援助する。

②「質のよい失敗」を生み出す……子ども自身が失敗と思える出来事を、子どもの育ちにつながる「質のよい失敗」に転換する。

③「答えの出ない事態に耐える力」を育む……子どものもやもやした気持ちを共有し、保育者が子どもの事態を受容して、共に考える姿勢を示す。

④「自分を大切にする力」を育む……子どものさまざまな感情を保育者が受け止め、それを言語化して子どもに示し、共に味わう。

（参考：全国国公立幼稚園・こども園長会『幼児教育じほう』令和４年４月号）